



「尚徳」 2月号 第569号 令和2年2月28日

鳥取大学附属小学校 学校便り

<http://www.fuzoku.tottori-u.ac.jp/~fusho/>

題字「尚徳」は、住川英明 附属学校部長 (元校長)



新型コロナ・ウィルスに負けるな!

校長 山下 博樹

連日、テレビや新聞のニュースだけでなく、報道番組やワイドショーなどでも新型コロナ・ウィルスの話題が取り上げられています。インフルエンザ・ウィルスとの違いや、感染した場合の対応など、取り上げられる内容はさまざまですが、私たちがこれだけ関心をもつのは、このウィルスへの知識が少ないことや、ワクチンや特効薬がまだ開発されていないことで不安を感じているためだと思います。今回の騒動が何かに似ているなあ、と最近感じていたのですが、それは豪雨災害などの際によく耳にした「想定外」という言葉と共通しているように思いました。未知のウィルスとはいえ、感染を完璧に避けることができなくても、極力感染しないようにする工夫や努力はできるはずです。この機会に効果的な正しい手洗いやうがいの仕方、マスクの使い方などをご家族で確認されてみてはいかがでしょうか。

他方で人混みを避けることも感染予防にとって有効な手段となりますが、学校の性格上、教室での授業や通学の際のバスや汽車の利用はなかなか避けることができません。また時期的には卒業式、入学式を迎えるシーズンでもあります。こうした大切な行事を安全かつ安心して実施するための相談も校内で始めていますが、みなさんのお知恵も拝借できたら有り難いです。

ここ数年来、少子化などの影響のためか、本校への入学を希望される志願者の減少が課題となっていました。ホームページでの本校の取組の紹介や在校生の保護者のみなさまのロコミなどの成果か、来年度入学の志願者を増やし、久しぶりに定員通りの合格者を発表できました。さまざまな課題にも知恵と工夫と強い結束で乗り越えられる、力強い学校にしていきたいと切に願っています!!

3月の行事予定

2日 (月) 研究日	19日 (木) 給食最終日 研究日	
3日 (火) 6年生を送る会	20日 (金) 春分の日	
4日 (水) 委員会 職員会議	23日 (月) 3校時学習、下校	
6日 (金) おはようおはなしの会(上) ワックスかけ (教室)	24日 (火) 修了式 離任式	
9日 (月) 6年バ伐ソグ給食 1~5年弁当の日 研究日	25日 (水) 学年末休業日	
10日 (火) おはようおはなしの会(下)	【 4月の行事予定 】	
11日 (水) 卒業式総練習	4月1日 (水) ~6日 (月) 学年始休業日	
16日 (月) 6年給食最終日 5年生以外 給食後下校	4月7日 (火) 着任式 始業式 1~5年 11時30分ごろ下校 6年 5校時学習 (弁当持参)	
17日 (火) 第73回卒業証書授与式	8日 (水) 入学式 11時30分ごろ下校	

学校の様子・子供の様子

*** 「実りの学校」 ***

2月8日(土)に「実りの学校」がありました。「キャリアに拓く」やこれまでの学習活動での学びの成果を発表することを通して、さらに学びが深まる機会でもありました。子供たちは、約2週間でまとめ上げ、当日を迎えました。

全学年の発表の様子を紹介します。低学年の「できるようになった」が、中学年で「学んだことを自分たちで工夫して表現する」になり、高学年の「学んだことから自分の考えをもつ、自分たちで発表を創る」に成長してきていることを感じていただけたらと思います。

*** 1年 ***

「大きくなったね1年かん」

1年生は、入学してからの1年間の学びを、国語・算数・生活・体育・音楽・英語の6つのグループごとにまとめて発表しました。それぞれのグループで話し合い、子供たちがおおまかな発表内容を考えました。よりよい発表になるよう、せりふや動きを工夫する姿が見られました。

当日は、緊張したようですが、一人一人が練習の成果を發揮していました。また、附小ならではの大学との連携や英語活動の様子も知っていただけたのではないかと思います。



*** 2年 ***

「わくわく大学たんけん」

2年生は、生活科の「わくわく大学たんけん」で探検した地域学部の6つの研究室と附属図書館、大学生協について学んだことを発表しました。グループごとに家の方や友達に伝えたいことを話し合い、たんけんジャーとして伝えようとみんなが張り切って取り組むことができました。

当日は、これまでの練習の成果をしっかりと發揮することができました。発表後の充実した表情に、自信がついたのだなと感じました。



*** 3年 ***

「鳥取ふしぎ発見！」

3年生は、ちいきの学習から「湖山池」を、そして社会科から「湖山周辺」「スーパーマーケット」「ちくわ工場」をテーマに発表しました。子供たちは、振り付けを考えたり、せりふを調整したり、場面の切り替わりの音楽を決めたりしながら、準備を進めました。

当日、どきどきする気持ちを乗り越え、一人一人が一生懸命演技する姿が素敵でした。自分たちが発見してきたことや調査したことなどを劇やクイズにこめ、学びの様子をお届けしました。



*** 4年 ***

「わたしたちの未来を考える」

4年生は、ちいきで学習した「山陰海岸ゾウパーク」「プログラミング学習」「国際交流」の3つのテーマについての発表をしました。それぞれのグループが劇・プレゼンテーション・ニュース番組形式の発表を準備し、表現の工夫を考えていきました。

当日は、自分たちが学びによって得た、自然環境を守り、高度な情報化社会をめざし、グローバル社会を生きていくといった志「未来への希望・期待・使命」のメッセージをもちながら、見に来てくださった方に全力で伝えました。



*** 5年 ***

「わたしたちの発明楽」

5年生は、ちいきの時間に学んできた「発明楽」について10のグループに分かれて発表しました。原稿や発表の仕方など自分たちで考えました。練習では、自分たちの思いが伝わるように間の取り方や抑揚、動きなど友達と話し合いながら発表を作り上げました。

当日は、発明をするための発想スキルや、実際に作った発明品の紹介、当たり前前に感謝することの大切さを伝えました。新しい取組「知的財産創造教育」について広く知っていただく貴重な機会になりました。



*** 6年 ***

「拓 ～歩んできた道、歩んでいく道～」

6年生は、1年間で学んだこと、成長したことを「旅の学校・平和学習」「服のカラープロジェクト」「キャリアに拓く」「学校の代表としての活動」のグループに分かれて発表しました。発表当日に向けて自分たちの伝えたいことを、どのように発表すれば伝えられるのかを考え、各グループがアイデアを出し合って準備しました。

当日は、子供たちが作成したスライドを見てもらいながら、これまでお世話になった方々への感謝の気持ちを伝えることができました。



学校の様子・子供の様子

*** 全学級「プログラミング教育公開授業」 ***

2月6日(木)から25日(火)にかけて、全学級においてプログラミング教育公開授業を行いました。プログラミング教育は、この度の学習指導要領改訂に伴い、来年度から全面实施することになっており、本校では昨年度から取り組んでいる教育です。

今回は、鳥取県教育委員会の主催するプログラミング教育の公開授業にもなり、東部や中部の公立学校や鳥取市教育委員会、八頭町教育委員会の先生方、のべ41名の参加がありました。

1～6年の全学級でプログラミング教育の授業を、担任の先生が行う授業形態で公開をしました。参観された先生から「プログラミング的思考を子供たちが体験できる授業だった」「教え合いなど自然な対話も見られた」「1・2年でプログラミング教育の授業を参観するのは初めてでした」などの感想をいただきました。

先行実施することで地域の公立学校等に還元することができました。

1年図工科「じぶんだけのどうぶつえんをつくろう」



2年図工科「アニメーション作りにチャレンジしよう」

3年社会科「わたしたちの鳥取市」



4年社会科「特色ある地いきと人々のくらし」



5年総合「発明品を使ってみよう」



6年理科「発電と電気の利用」

*** 大学調査の結果について ***

年末に鳥取大学地域学部准教授田中大介先生の「地域調査プロジェクト」に関わるアンケート調査のお願いがあり、学年の保護者の皆様に Web でご回答をいただきました。回答者79名のデジタルゲームに関する意識調査から見えた結果をお伝えします。

○家族のおける会話とゲーム依存について

会話が減ったと感じる保護者の子供ほど、ゲーム依存得点が高い。

○子供との外出願望とゲーム依存について

「子供と外出したい」と強く希望している保護者の子供ほど、ゲーム依存得点が高い。

○他の趣味の有無とゲーム依存について

他に趣味があると、ゲーム依存得点が高い。

ご協力ありがとうございました。

*** ゼミ生考案ボードゲーム ***

鳥取大学地域学部准教授武田信吾先生のゼミ生がボードゲームを考案し、5年生の希望者に試行してもらいました。考案したゲームは、勝敗を決めるものではなく、ゲーム参加者が協力して作品を作り上げていく内容となっており、鳥取の特産や特徴を盛り込んだものとなっていました。

ゼミ生の説明を聞きながら友達と協力して、ボードゲームを楽しみました。

